

学修をはじめる前に  
必ずお読みください

2026年度

---

# 学習の手引き③

---

総合科目・外国語科目の学修方法、特修生 編

〔 建築学部オンライン  
学士プログラム 〕

近畿大学通信教育部

## 2026年度 学習の手引き③

## 総合科目・外国語科目の学修方法、特修生編

## I 総合科目・外国語科目

① 学修形態	1
② 開講科目	4
③ テキスト授業の学修方法	
① レポート提出・学修方法	6
② 科目終末試験	13
④ オンデマンド授業・スクーリングの学修方法	
① 「外国語・健康スポーツ科学」の単位	18
② オンデマンド授業時間割	19
③ オンデマンド授業	20
④ スクーリング時間割	22
⑤ スクーリング会場	24
⑥ スクーリング	25
⑦ 欠席	28
⑧ スクーリング申請の取消し	28
⑨ 受講の準備	28
⑩ オンデマンド授業とスクーリングの同時受講	34
⑪ テキスト授業への振替(外国語科目のみ)	35
⑫ 卒業に関わる最終受講期	35
⑬ 気象警報及び台風・地震等による交通機関の運行停止に伴う授業の取扱い	36
⑤ 成績評価・通知	37

## II 特修生(大学入学資格認定コース)

① 開講科目及び修了に必要な単位数	38
② 学修方法	38
③ 面接試験	39
④ 正科生入学後の単位認定	39
⑤ 学修から修了まで	39

## 巻末

近畿大学生協キャンパスストア Bloom 教科書購入願  
再試験受験申請書

本プログラムに掲載されている内容(レポート設題、課題、試験問題、学習の手引き等)や学修質疑の回答を、著作権者に無断で複製、複製、翻訳、転載等することは、法律により禁じられています。  
また、レポートや試験の解答、自作の課題作品(設計図面・模型・文章・画像等)をSNSやWebサイト等に掲載・共有することを禁止します。

## はじめに

本 PDF（学習の手引き③）は総合科目、外国語科目に関する手引きです。

## I 総合科目・外国語科目

### ① 学修形態

テキスト授業、オンデマンド授業、スクーリングの3種類です。

学修方法		開講形態	詳細	
テキスト授業	教科書で自学自習し、レポートと試験に取り組む科目	①RE	レポート(記述式) + 科目終末試験(記述式)	自宅学修
オンデマンド授業	講義動画を視聴し、試験に取り組む科目	②ME	動画視聴 + 単位修了試験	
スクーリング	対面で参加する科目	③SS	対面(全3回)	対面授業
			オンライン、夜間のみ(全8回) <sup>※1</sup>	遠隔授業

※1 英語総合のみ

## テキスト授業

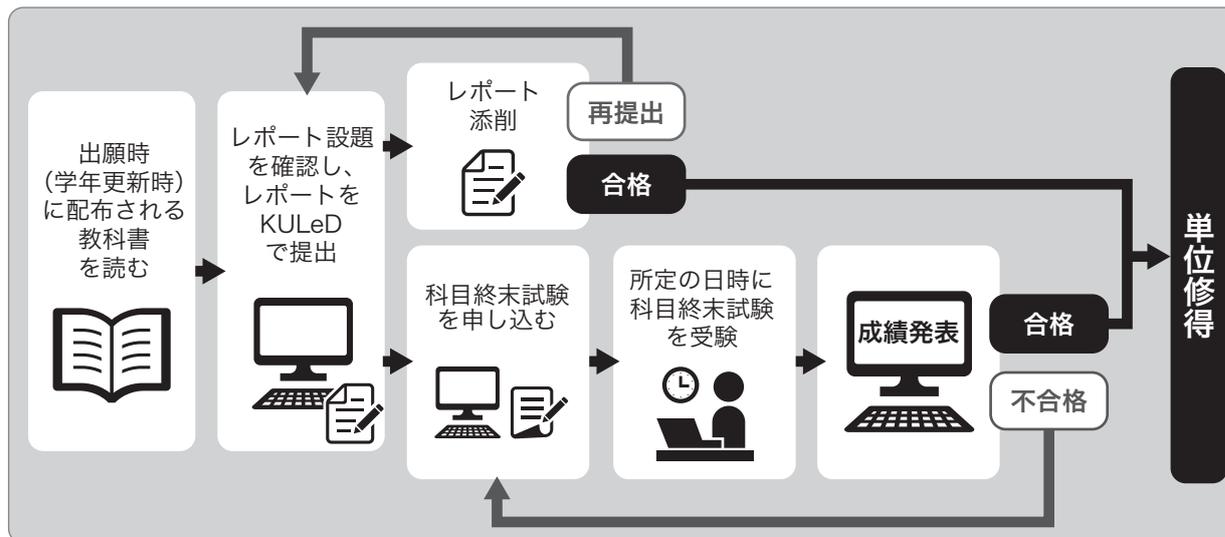
### ①【RE】レポート(記述式) + 科目終末試験(記述式)

総合科目及び外国語科目のテキスト授業科目です。

教科書をもとに自学自習します。動画の授業や講義はありません。

教科書を読み、2,000字(2単位)または4,000字(4単位)の記述式のレポートに取り組みます。記述式レポートは、教員の添削を経て、合格または再提出で返却されます。合格になるまで何度でも提出ができます。添削に時間がかかるため、合格していなくても科目終末試験に申込みが可能です。レポート合格が試験合格よりも遅くなっても問題ありません。

レポート提出後、試験の申込み、記述式の試験を受験し、レポートと科目終末試験の両方に合格すると単位修得です。



### 科目終末試験について

- 総合科目・外国語科目のテキスト授業【RE】はレポート提出後、所定の期間に試験の受験申込みが必要です。申込みを忘れたら、受験できません。
- 試験日は、総合科目・外国語科目は6・8・12・2月の年4回実施します。詳細は [p.13](#) を確認してください。
- 試験時間は1科目50分です。総合科目・外国語科目は1日に午前2科目・午後2科目の最大4科目まで受験できます。
- 何科目受験するか、どの科目を受験するかは申込み時に選択します。
- 試験はWeb上で受験します。問題は非公開ですが教科書や資料などを手元に置いて参照しながら解答することが可能です。
- なりすまし防止のため、試験はZoomに接続し、顔認証(本人確認)を行います。

## オンデマンド授業

### ②【ME】動画視聴 + 単位修了試験

受講期間（5月～7月/11月～1月）に1科目につき約60分程度の動画を第1回から第15回まで視聴します。

各回の最後に確認テストがあり、全問正解すれば次の回を視聴することができます。動画をすべて視聴後、受講期間の最後の1週間（7/25～7/31もしくは1/25～1/31）のうち好きな日時にオンデマンド単位修了試験（60分）を受験します。単位修了試験に合格すると単位修得です。

一部の科目では、動画の視聴時間が単位修得の条件となっています。受講前に必ずシラバスで条件（必要な視聴時間など）をご確認ください。



※総合科目は受講登録不要。メールも届きません。

### オンデマンド単位修了試験について

- 受講期間の最後の1週間の好きな日時に受験できます。
- 試験時間は1科目60分です。15回の動画をすべて視聴して確認テストに全問正解すると、試験を受験できるようになります（一度受験すると合格がわかるまで再受験はできません）。
- 試験はWeb上で受験します。問題は非公開ですが教科書や資料などを手元に置いて参照しながらの解答が可能です。
- なりすまし防止のため、試験はZoomに接続し、顔認証（本人確認）を行います。

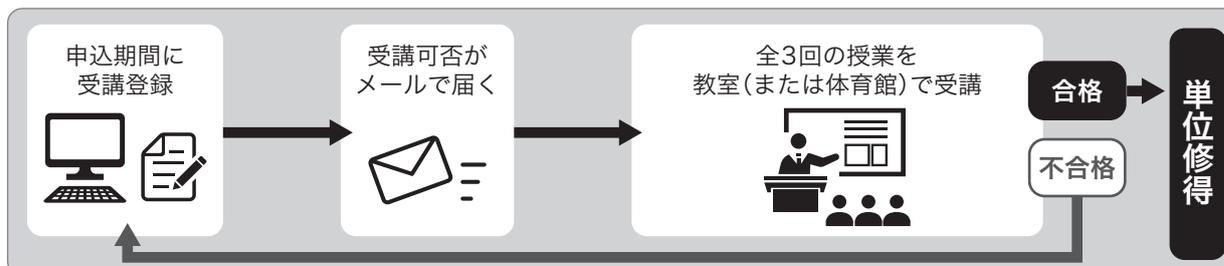
## スクーリング

### ③【SS】対面(全3回)

外国語科目、総合科目のスクーリングです。

語学や健康スポーツ科学のスクーリングは、3回とも対面授業です。健康スポーツ科学は東大阪キャンパスの体育館で実技の授業になります。語学の授業は最終日の単位修了試験に合格すると単位修得です。  
※英語総合のみオンライン開講があります（夜間のみ、全8回）。リアルタイムの講義をZoomを通じて受講します。双方向のやり取りをするため、カメラ・マイクが必須です。

※ Google Classroomを使用する場合があります。その場合は開講日の約1週間前に Google Classroom の案内が近大メールに届きます。必ず確認のうえ登録してください。



## ② 開講科目

### ① 総合科目

卒業に必要な単位数 合計22単位（3年編入学は24単位認定）

系	科目コード	授業科目	単位	学修方法	開講形態	配当学年
人間と自然	1105	人間論(心理学)	4	テキスト授業	RE	1
	1402	生命現象論(生物学)	4	テキスト授業	RE	
	1404	自然環境論(地理学)	4	テキスト授業	RE	
	1701	環境と社会	2	オンデマンド授業※1	ME	
異文化の理解	1101	文化交流論(歴史)	4	テキスト授業	RE	
	1104	日本文化論(文学)	4	テキスト授業	RE	
	1711	国際化と異文化理解	2	オンデマンド授業※1	ME	
	1712	日本語の技法	2	オンデマンド授業※1	ME	
社会の認識	1301	日本社会システム論(法学)	4	テキスト授業	RE	
	1302	国際社会システム論(社会学)	4	テキスト授業	RE	
	1303	国際社会システム論(政治学)	4	テキスト授業	RE	
	1304	日本社会システム論(経済学)	4	テキスト授業	RE	
	1721	住みよい社会と福祉	2	オンデマンド授業※1	ME	
	1722	暮らしのなかの憲法	2	オンデマンド授業※1	ME	
	1724	キャリアデザイン	2	オンデマンド授業※1	ME	
	1725	技術と倫理	2	オンデマンド授業※1	ME	
	1726	現代社会と法	2	オンデマンド授業※1	ME	
	1727	ビジネスモデルとマネジメント	2	オンデマンド授業※1	ME	
1728	暮らしのなかの起業入門	2	オンデマンド授業※1	ME		
科学の方法	1401	情報リテラシー論(数学)	4	テキスト授業	RE	
	1403	科学方法論(化学)	4	テキスト授業	RE	
	1741	データリテラシー入門	2	オンデマンド授業※1	ME	
健康とスポーツ	1601/1602	健康スポーツ科学※2	2	テキスト授業 スクーリング	RE SS	
	1761	健康とスポーツの科学	2	オンデマンド授業※1	ME	

- ・入学後、選択した科目から変更する場合はKULeD「追加履修」より手続きしてください（要経費）。
- ・オンデマンド授業（総合科目）を追加履修する場合、オンデマンド授業の履修申請期間（4/1～4/15もしくは10/1～10/15）に追加履修及び納入が必要です。

※1 オンデマンド授業（総合科目）は出願時に履修登録をするため、入学後の登録は不要です。

※2（1601/1602）健康スポーツ科学は、理論（1単位）と実技（1単位）の履修が必要です。  
また実技は東大阪キャンパスでの対面スクーリングの受講が必要です。

## ②外国語科目

卒業に必要な単位数 合計8単位（スクーリング・オンデマンド授業4単位以上の修得が必要）

系	科目コード	授業科目	単位	学修方法	開講形態	配当学年	
英語	7701	英語読解	2	テキスト授業	RE	1	必修
	7702	英語総合※1	2	スクーリング オンデマンド授業	SS ME		必修
	1501	英語特修(A)※2	2	テキスト授業	RE	2	
	7704	英語表現※1 ※3	2	スクーリング オンデマンド授業	SS ME		
初修外国語	1509	ドイツ語基礎	2	テキスト授業	RE		
	1510	ドイツ語読解※1	2	スクーリング オンデマンド授業	SS ME		
	1513	中国語基礎	2	テキスト授業	RE		
	1514	中国語読解※1	2	スクーリング オンデマンド授業	SS ME		
	1530	韓国語基礎※1 ※4	2	スクーリング オンデマンド授業	SS ME		
	1531	韓国語読解※1 ※4	2	スクーリング オンデマンド授業	SS ME		

※1 外国語科目のスクーリング・オンデマンド授業は1単位開講であり、同一科目を2回（別講師）の受講により2単位修得する必要があります。

スクーリング1単位とオンデマンド授業1単位の組み合わせにより2単位修得も可能です。

※2 「英語特修（A）」は要卒業単位数に含まれません。

※3 「英語表現」の単位を修得した場合、初修外国語の成績として加算されます。

※4 「韓国語基礎（2単位）」を合格したら「韓国語読解（2単位）」を履修（申込）することが可能です。

「韓国語」は東大阪キャンパスにて開講されるスクーリング（対面）への参加が必須です。

スクーリング（1単位）とオンデマンド授業（1単位）での単位修得を推奨します。

**注意事項**

テキスト授業で履修された科目以外のスクーリング・オンデマンド授業を履修することもできます（必修科目を除く）。

例) テキスト授業「ドイツ語基礎（2単位）」、スクーリング・オンデマンド授業「中国語読解（2単位）」を履修

### ③ テキスト授業の学修方法

#### ① 総合科目のレポート提出・学修方法 並行して「KULeD」ユーザマニュアルを確認してください

教科書は1科目ごとに（多くても2科目程度までで）学修することが望ましく、着実に1科目ごとにレポートを作成し、科目終末試験に臨んでください。

**科目終末試験受験のためには、受験する科目のレポートの提出及び申込みが条件となっています。**提出は、試験日ごとに設定されている受験申込期間までにおこなう必要があります。

なお、午前の部・午後の部で受験できる科目が設定されています（[p.16参照](#)）。そこで、午前の部・午後の部のバランスを考えながらレポート作成計画を立ててください。

※初めに取り組む科目の選択は非常に重要なことです。興味のある科目、得意な科目を選ぶことをお勧めします。

1科目のレポートを作成すれば、2科目からは比較的取り組みやすくなります。

#### 学修量・設題について

配本（履修許可）された教科書を学修し、その学修報告としてレポート提出が課せられています。

レポート設題は、科目ごとに、科目コード、添削指導教員名、使用教科書、著者名、設題と規定字数、作成上の留意事項・ポイント、総評基準についてのメッセージ、参考書等が記載されています。

なお、記載されている参考書等は、設題作成時の情報をもとに掲載しております。改訂や絶版となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

レポートの添削教員は、基本的には記載のとおりですが、一部異なる科目については、梅信等でお知らせします。

レポート提出方法については「KULeD」ユーザマニュアルを参照してください。

#### 設題の使用期間について

2年ごとに設題が切り替わります。

ただし、教科書改訂や修正、新たに開講された科目の設題は、その都度「梅信」等で発表します。

#### レポートの分量について

科目によってスペースを含め2,000字または4,000字でレポートを作成することが定められています。規定字数の増減は以下のとおりです。字数内にまとめることも評価の対象であることを認識して作成してください。

なお、語学・特定科目などで字数指定のない科目はこの限りではありません。

レポートの種類	増減限度	提出可能字数
2,000字	±100字	1,900字以上 2,100字以内
4,000字	±200字	3,800字以上 4,200字以内

#### レポート作成にあたって

1. 参考書等は、著者名、発行年、書名、発行元、ページ数等を入力してください（規定字数には入らない）。インターネットのホームページ等の引用がある場合は、どの部分の引用で出典が何であるか明記してください（タイトルやURLなど）。なお、表記方法は使用教科書の文献一覧などを参考にしてください。
2. レポートは自分で学修した内容を自分の文章で表現してください（[p.7 レポートの提出について参照](#)）。



### レポートの評価・返却期間について

レポートは提出後、添削教員によって講評欄に講評が、評価欄に合格または再提出が記されて返却されます。

前月の1カ月間に提出されたレポートを当月20日までに順次添削後、返却されます。

返却を待たずに同月日の科目終末試験対策、別科目のテキスト授業科目の学修をすすめてください。

例) 4月1日～4月30日までに提出されたレポートは5月20日までに返却されます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
対象期間	3/1～3/31	4/1～4/30	5/1～5/31	6/1～6/30	7/1～7/31	8/1～8/31	9/1～9/30	10/1～10/31	11/1～11/30	12/1～12/31	1/1～1/31	2/1～2/28
採点締切日	4/20	5/20	6/20	7/20	8/20	9/20	10/20	11/20	12/20	1/20	2/20	3/20

### レポートの再提出について

評価が再提出の場合、「一部」指示の場合でも、**指摘箇所を中心に全体を見直し、規定字数（2,000字または4,000字）を厳守**のうえ、再度設題全体についてレポート作成してください。

再提出時にレポート設題が改訂されている時は、新設題による提出が必要です。

### 科目終末試験受験資格について

各科目初回レポートを提出すると、テキスト授業の単位修得に必要な科目終末試験受験資格を得ることができます。

履修登録されていない科目や、提出レポートに不正・不備がある場合は、科目終末試験受験資格を得ることができません。

### 《不正提出の事例》

レポートを提出すると、その科目の受験申込ができます。この仕組みを悪用し、例えば「あああああ」等の無意味な文字を規定字数になるまで入力して提出し、受験資格を得るような行為や他人のレポートを書き写す(剽窃)行為が散見されます。

このようなレポートは不正レポートとして以下のとおり対応します。

1. 試験実施前に判明した場合、当該科目の受験資格を取り消す
2. 試験実施後に判明した場合、当該科目の受験を無効とする

**悪質な場合は不正行為として処分される**場合もありますので十分注意してください

※科目終末試験申込日程に十分な余裕をもってレポートを提出してください。

### レポートと科目終末試験について

レポートが合格で、試験が不合格の時は、レポートの再提出は必要なく、科目終末試験のみ再受験をしてください。

また、レポートが再提出で、試験が合格の時は、試験の再受験は必要なく、レポートの再提出のみをおこなってください。

なお、成績の認定には、レポートおよび科目終末試験のいずれも合格していることが必要です。

## テキスト授業科目の学修方法（総合科目） —教科書の読み方、レポートの書き方—

### 教科書の読み方

#### ●はじめに

通信教育による大学で学修されている皆さん、それぞれが希望を胸いっぱい膨らませて学修に取り組んでおられることでしょう。通信教育による学修の第一歩は、大学から送付された教科書を読むことから始まります。教科書をいかに読み、いかに理解するか、これが一番重要なことであり、そのうえでレポートを作成し、科目終末試験を受験し単位を修得する。これが通信教育課程の学修の基本といえるでしょう。教科書をどのように読むか、これについては、それぞれの方法があると思いますが、ここでは原則的かつ標準的と思われる方法について参考までに述べてみましょう。

#### ●どう読むべきか

昔から言われている“ことわざ”に「読書百遍意おのずから通ず」というものがありますが、通信教育の教科書を読む場合にもあてはまります。教科書は読めば読むほど良く、何回も読むことによって、わからなかった部分が理解されてきます。

しかし、教科書をただ漠然と字面（じづら）だけを追って何回読んでも効果はあがるものではなく、そこにはやはり「読み方」があります。読み方の工夫こそ大切です。このどう読むべきかという「読み方の工夫」について、基本となるものをあげますので、皆さんも参考にしてそれぞれ自分にあった方法を見つけてください。

まず、目次を見てください。目次を見ると、教科書全体の内容がどのように組み立てられているかがわかります。教科書の構成や体系を知ることが、教科書の内容を理解するうえで大いに役立ちます。

そのうえでどの科目についても、少なくとも3回は読むようにしてほしいと思います。この場合、最初の1回は、その科目の教科書をさっと第1ページから最後まで通読しましょう。そして、まずその科目のアウトラインを知ることが必要です。

#### 〈1回目は通読〉

1回目は、読みながら全体の流れ、概略を把握するように心がけてください。この場合はごく漠然としたもので良いのでその科目の全貌をつかむことです。詳しく読みこなそうとすると、なかなか前に進むことができにくくなります。初めて知った語句、理解できない箇所、疑問点にはあまりこだわらずに、その箇所には、線を引くなり、しるしをつけて読み進んでいきましょう。多少のことはそのうちに理解するようになるものです。このようにして1回目は大筋を把握してください。

理想をいえば、この大要をつかむために、1章・1節ごとに問題点なり、論じられている事項の要点を教科書の余白に書き入れるか、あるいはノートを作ってそれに書き込むなりするとより効果的です。1回目の通読で以上のことができれば、次は非常に楽に学修できるようになります。

#### 〈2回目は綿密に読む〉

2回目は、最初のページに戻ってじっくりとそして前よりもゆっくりと、綿密に十分理解しながら読んでください。特に前後の関係や関連を考えながら繰り返し読むことが必要です。

そして、どうしても理解できないところは、参考書や辞書などで調べ徹底的に読み、理解するように努めてください。この作業をしながら重要度に応じて「しるし」をつけたり、まとめたりしてみましょう。またノートをとることも大切です。ノートは講義を受けるときだけでなく、教科書を読む場合にもとるよう心がけてください。

つぎに学修方法の要点をあげてみましょう

1. 各科目の教科書は執筆者の立場に立って読み、具体的な事例に置き換えて考える
2. 重要な点については、マーカーなどを使って線を引く
3. 教科書の余白を使って、詳しく小見出しをつける
4. 科目ごとにノートを使って、重要な点を箇条書きにしなが教科書の内容をまとめてみる
5. ノートには、参考書や辞書などで調べたところや関連事項を書き写し、自分の意見なども記入しておく

以上のような作業は大変時間がかかり、手間もとられます。しかし、これをきちんとしておけば、その後のレポート作成・試験答案の作成に大変役に立ちます。

### 〈3回目は確認〉

次は3回目です。いわば総仕上げの段階といえます。前回までに分析したものにいかに理論的に筋道をあたえるか、また論旨が展開されているかを、よく考えながらその仕組みを理解していくべきです。また、頭の中やノートにとったものを整理し、目次との関係に注意を払いつつ全体を体系づけながら読み進むようにしてください。そして最後に間違っていて解釈している点がないかを一通り確認することです。以上のようにしながら、全体を通読してください。このようにして、できるかぎり3回は読み、内容をマスターするように心がけてほしいものです。

## レポートの書き方

### ●はじめに

教科書をしっかりと読み、内容を理解したら、次はレポートの作成になります。

ところで、通信教育の学修で最初につきあたる壁は、やはりレポートの作成です。いざ作成しようとしても、少しも手が動かない。焦って、これまでの自分の学修に疑問を持つようになる。このような経験を持つ人も多いことと思います。しかしこれは、レポートの作成に慣れていないからです。通信教育では、この最初の壁を突き破らなければ初期の目的は達せられません。それには、初めから完璧なものを追わず、まず書き上げてみることです。そしてある程度満足が得られたら臆せず、思い切って提出してみましょう。さっと歩き出すことも大切です。

### ●レポートの書き方

レポートはどんな形式で書こうと、どの程度にまとめようと自分で一番良いと思うものをありのまま書くことです。初めから完璧なものを書こうとしても、1カ月や2カ月の学修で上手くできるものではありませんし、そのような考えでは、時間ばかり経過してしまいます。だからといって本の丸写しや他人のレポートを写すことなどはやめましょう。少しでも良いものを書こうという努力は怠ってはいけません。文章を書くということは難しいものです。最初はレポートの作成に苦労する方が多く、自分一人だけがレポートの書き方を知らないと思いがちです。しかし、それはよくありません。思い切って書いたレポートが次第により良いものになり、回を重ねるごとにレポート作成も苦にならなくなります。レポートの作成にあたっては次の諸点を考慮に入れながら作成してください。

#### 1. 設題の意味を考えましょう

まず、その設題が何を求めているのか、よく考えることです。出題者は意味もなくその設題・テーマを設定しているわけではありません。その意図を考え、これにピントを合わせたレポートにしなければならないのです。テーマには触れられなければならない、いくつかのポイント（論点）があるはずで、それらを的確に把握しなければなりません。

テーマの周辺（内容）を半分力スリながらさまよっているようなレポートや、さらにはテーマの意図と遠く離れたレポートはレポートとしては落第といえるでしょう。また、設題・テーマを見てもすぐに関係箇所を開き、そこのページを書いただけでは、教科書の丸写しとしかいえません。一番大切なことは、設題のねらいや意図をよくつかんで、教科書の全体から問題を解き自分のものとして消化してから、自分の文章（言葉）で表現されたレポートを作成するように心がけましょう。

#### 2. 教科書を理解したうえでレポートを作成する

まずは、教科書をよく読んで十分に理解することを心がけましょう。教科書が理解されていれば容易にポイント（論点）を見つけ出すことができるはずで、そのうえでレポートの作成に着手してください。

#### 3. 論文構成を十分にしましょう

論点が把握できたら、次は論文構成です。レポートを書く場合には、何を見ても良いし、いくら時間をかけて作成してもかまいません。したがって、下書きから始めて、構成をよく練り、理路整然とした無駄のない、しかし必要な肉づけのある論旨の一貫したレポートが理想といえるでしょう。

そのためには、第一に、書く順番を考えてもらいたいと思います。思いつくままにだらだらと書くのではなく、自分の思考過程を読み手によくわかってもらうように書くことが大切です。特に事例問題について書くこともありますが、その場合にはおおよそ、二通りの書く順番があります。一つは、一般原則を論じ、それに具体的な問題をあてはめていく方法であり、もう一つは、具体的な問題を一つ一つ論じ、それを一般原則に発展させていく方法です。どちらの方法でもかまわないでしょう。第二に、構成方法をよく検討しましょう。一般的・常識的に使用される方法ですが、「序論（序章）・

本論・結論」あるいは「起承転結」といったような構成でレポートを書くこともかなり効果的な方法です。しかし最初に結論を書いても一向にかまいません。参考までに構成方法の原則的なものをあげてみましょう。

### ●構成方法

- 序論：レポート全体のねらいや要旨、問題の提起、概念の定義づけ、論点（その取り扱い方）やその背景を書くのが普通です。これによって読み手を本論に引き入れることがはかれるのです（長くならないように）。
- 本論：レポートの本体であり、中心部分であって自分の主張しようとするを十分に論究する部分です（論理的に簡潔に要領よく書くことが必要）。
- 結論：レポート全体の要約、文字通り「結論」が述べられる。すなわち、本論の問題の展開にもとづいて、その問題に対する積極的な主張、批判などを要約して書く部分です。

以上、標準的な構成方法について考察してきましたが、レポートの書き方に特別な書き方があるわけではありません。要するに学修が十分であれば、何をどこで、どのように書くのが一番良いかは自然に理解できるものです。

次にレポートを作成するにあたって、特に注意しなければならない表現上のルール（常識的な注意事項）をあげてみましょう。

### 表現上の諸注意

- 1. プランを作って割り振りをしましょう**  
必ず「下書き」を書き、規定字数内に収めるようにしましょう。
- 2. 誤字、脱字、略字のないように注意しましょう**  
誤字や脱字が多いようでは、学問以前の教養が疑われることになります。用字・用語について少しでも気にかかるときは、すぐに辞書を引いて調べるように心がけましょう。
- 3. 書き出しに注意を払いましょう**  
書き出しは必ず1字さげて書きましょう。また、行を変える場合も1字さげましょう。
- 4. 段落の区切り方、番号のふり方、文章の長さに注意を払いましょう**  
段落の区切り方の大きな目安としては、1論点ごとに区切ると良いでしょう。読み手に対して、1段落ごとに着目させることになるからです。また、レポートの文章には「番号」をふるようにすると良いでしょう。見違えるほど読みやすくなるものです。番号のふり方としては「一、二、三…」、「1、2、3…」、「(一)、(二)、(三)…」、「(1)、(2)、(3)…」の順がオーソドックスとされています。文章の長さですが、原則として1文章に1内容となるように心がけるべきです。長くダラダラと書いた文章は、読み手の理解を困難にします。印象も悪く、またミスを誘発しかねません。
- 5. 参考書や判例集などの文献・資料を活用しましょう**  
レポートを書くにあたって、参考書などの文献資料を引用することが必要となることもあります。文献を引用した場合には、その都度出典を明らかにして、他からの引用と自分の文章とをはっきり区別しておかなければなりません。引用の部分は必ず「」で示し、そしてその後に（）で、著書からの引用であれば著者名、書名、引用箇所を、雑誌からであれば筆者名、題名、ページ、雑誌ナンバーをそれぞれ示さなければなりません。それが文章を書くものにとっての常識です。

#### 〈参考文献の書き方〉

- ・注書きした文献、引用文献などは参考文献欄に一括して記載すること（ただし、提出科目の教科書の記載は不要です）  
（単行本）著者名、『書名』、（出版社名、版表示、発行年）頁  
（論文）執筆者名、「論文題名」、掲載誌名、巻名、号数、頁（発行年）
- ・インターネットによるホームページ等を参考にした場合、引用元サイトのURLを明記すること

## レポート提出

教科書を十分に理解できたならば、次に設題によってレポートを提出します。興味のあるもの、関心をもっている科目からレポートを作成するのが良いでしょう。提出されたレポートは次の順序により返却されます。

①レポート提出 → ②各科目担当の添削指導教員による添削・講評 → ③返却

返却されたレポートをよく読み返し、その添削されたところ、批評されたところをよく検討することにより、個人指導と同様の成果が得られます。

以上、レポートの作成について説明してきました。

今までの学修成果を評価してもらうために、いろいろな工夫があっても良いと思います。

通信教育生一人一人が工夫をされて自分なりのレポートを作成するよう努力してほしいと思います。

※レポートの添削結果が「合格」で指摘事項がない場合、講評欄は空白のことがあります。

## レポートにおける剽窃(ひょうせつ)(盗用)行為(plagiarism)について

“剽窃”とは他人の著作から全部または部分的に文章、図表、語句、話の筋、思想などを盗み、自作の中に自分のものとして用いることです。友人が書いたレポート等を写す行為は剽窃ですし、ネット上の情報を自分のレポートに貼り付けてしまう行為、いわゆる「コピペ」も剽窃です。他人のテキストを自分で入力しても剽窃になります。剽窃は倫理に反することであり、著作権を侵害するなど法に触れる場合もあります。

米国の大学等ではcheating(カンニング)と同じ扱いになり、剽窃を行ったレポートが判明すると、即座に退学させられる場合もあります。ただ、処罰対象になるからやってはいけない、ということではありません。あくまで、剽窃は倫理に反する行為、不正行為だということです。

一方で、レポートを作成するときには、様々な文献を引用することがあります。様々な文献を引用することは、レポートを作成する上で重要なことです。「引用」と「剽窃・盗用」は全く異なります。文献等を引用する際に大事なことは、「自分の文章と他人の文章をレポートの中で明確に区別する」ということです。なお、引用は明確に示すこと(明瞭区別性)はもちろん、引用が従であること(主従関係)、出典を明示することなど厳格なルールが存在します。

また、ChatGPT等の生成系AI(人工知能)により生成された文章や画像に関しては、内容の信憑性を確認せずにそのまま利用する行為も剽窃に該当します。引用ルールの詳細については、近畿大学中央図書館学修サポート([https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study\\_support.html](https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study_support.html))の「レポートの書き方」や「ダメなコピペ・パクリ≡「剽窃(ひょうせつ)」について」などを参照してください。

レポートに書いた文章は、それを書いた人の大事な自己表現です。レポートや試験でも自分の文章に誇りを持ち、剽窃などせず、自分自身の個性を存分に発揮してください。

## ②科目終末試験

テキスト授業（RE）の単位を修得するための最終試験が、この科目終末試験です。試験は年間10回、4月と10月を除く、月1回日曜日に実施しています。総合科目、外国語科目は年間4回実施しています。

分野	受験月
総合科目／外国語科目	6月、8月、12月、2月
専門科目（製図科目以外）	5月、7月、9月、11月、1月、3月

### ●総合科目・外国語科目試験日程

期	日程	受験申込期間（厳守）	成績発表日
6月	6月14日（日）	5月27日（水）～6月2日（火）	7月9日（木）
8月	8月23日（日）	7月15日（水）～7月21日（火）	9月17日（木）
12月	12月13日（日）	11月25日（水）～12月1日（火）	令和9(2027)年1月14日（木）
2月	令和9(2027)年2月7日（日）	令和9(2027)年1月20日（水）～1月26日（火）	令和9(2027)年3月11日（木）

- ・1回の日程で午前2科目、午後2科目の最大4科目の受験が可能です。
- ・受験申込期間内に手続きしてください。
- ・成績はKULeD「成績照会」から確認してください。
- ・各試験期の受験申込は1回のみです。追加申込や変更は取り消し後、再度申込みしてください。
- ・専門科目は学習の手引き②を参照してください。

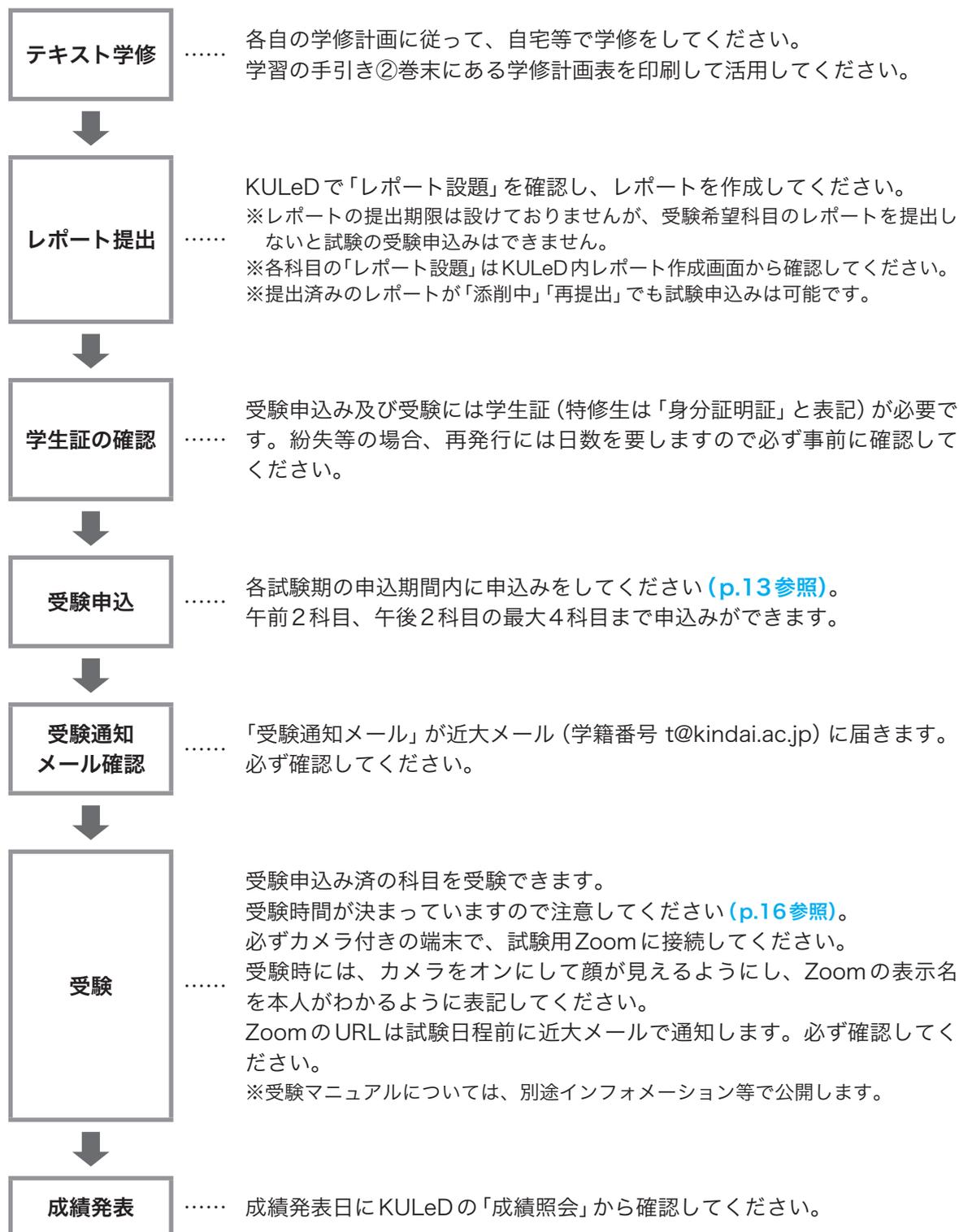
### (1) 受験資格

次の条件を満たすことが必要です。

- ・試験期日が学籍有効期限内であること。
- ・履修が許可された科目を学修し、学修報告として規定のレポートを提出することにより、受験資格が得られていること。
- ・科目終末試験受験申込期間内に、所定の手続きを完了していること。

本要項に記載されていない注意事項があります。「KULeD ユーザマニュアル」、KULeD インフォメーションも確認し、試験に臨んでください。

## (2) 科目終末試験受験までの流れ



科目終末試験は、通信教育の独自性を考慮し、年間複数回実施しています。実力が発揮できなかった場合や予定していた試験期に受験ができなくても、次の試験期に万全を期して受験に臨み、成果をあげてください。（文字数に制限はありません。まれに、教員が問題文中に文字数を指定している場合があります。）

**(3) 試験時間**（次頁 試験時間割参照）

試験時間は1科目50分間です。提出ボタンを押すことにより、経過時間に関係なく答案提出が可能です。50分を経過すると強制的にその時点の入力内容で答案が提出されます。

午前の部（午後の部）で2科目受験をする場合は、1科目めの試験時間経過後に2科目めの答案作成両面が表示されます。50分を経過し、強制的に答案が提出された場合、自動的に2科目の問題が表示されます。誤って提出を押下しないように注意してください。

**(4) 試験科目および受験科目数**（次頁 試験時間割参照）

開講科目を午前の部、午後の部に配分しています。1回の日程で午前の部から2科目、午後の部から2科目の最大4科目まで受験が認められます。

無理な受験にならないよう、各自で慎重に年間計画を立て、十分な準備をしたうえで試験に臨んでください。

**(5) 受験申込み**

事前申込みが必要です（申込期間厳守）。KULeDの「科目終末試験申込」から受験申込期間内に申し込んでください（[p.13参照](#)）。

**● 受験許可**

受験が許可されれば、近大メール（学籍番号 t@kindai.ac.jp）に受験通知メールをお送りします。

記載内容（試験日・受験科目）に誤りがないか必ず確認してください。

受験申込みが確認できない場合は、受験ができませんのでご注意ください。

メール未着の場合は、必ず連絡してください。

**● 不許可になるケース**

次に該当する場合は受験不許可とし、申込された全科目を取消します。

- ・ 受験科目の提出レポートが「ああああ……」等、受験資格取得を目的とした不正レポートと判断される時 ※科目終末試験受験後においても成績無効となります。

**● 受験登録科目の取消・欠席**

午前または午後で受験する全科目を取消する場合（欠席）連絡は不要です。受験しなかった（取り消した）科目を次回以降に受験する場合は、あらためて受験申込みを行ってください。

**(6) 受験方法**

必ずカメラ付きの端末で、試験用 Zoom に接続してください。受験時には、カメラをオンにして顔が見えるようにし、Zoom の表示名を本人がわかるように表記してください。

Zoom の URL は試験日程前に近大メールで通知します。必ず確認してください。

※受験マニュアルについては、別途 KULeD インフォメーション等で公開します。

**(7) 不正行為者処分について（学生規程第8条抜粋）**

**第8条** 一切の不正行為を厳禁する。不正行為の者に対しては、次のように処分する。

**(2) 単位修了試験**

- ① 当該の科目を不合格とする。
- ② 3回目以後は停学処分（6ヶ月）とする。

## ●試験時間割

**午前の部** 〈事前準備時間10:10～10:25(厳守)〉

(時間外のアクセスはできませんのでご注意ください)

1科目受験	<b>試験開始 10:30</b>	終了時刻 11:20
2科目受験		終了時刻 12:10

※経過時間に関係なく答案提出が可能です

区 分	科目 コード	科 目 名	科目 コード	科 目 名
総 合 科 目	1105	人間論(心理学)	1402	生命現象論(生物学)
	1404	自然環境論(地理学)	1101	文化交流論(歴史)
	1301	日本社会システム論(法学)	1303	国際社会システム論(政治学)
外国語科目	7701	英語読解	1501	英語特修(A)
	1513	中国語基礎		

午前の部は、上記科目の中から2科目まで受験できます。

**午後の部** 〈事前準備時間13:10～13:25(厳守)〉

(時間外のアクセスはできませんのでご注意ください)

1科目受験	<b>試験開始 13:30</b>	終了時刻 14:20
2科目受験		終了時刻 15:10

※経過時間に関係なく答案提出が可能です

区 分	科目 コード	科 目 名	科目 コード	科 目 名
総 合 科 目	1104	日本文化論(文学)	1302	国際社会システム論(社会学)
	1304	日本社会システム論(経済学)	1401	情報リテラシー論(数学)
	1403	科学方法論(化学)	1601	健康スポーツ科学
外国語科目	1509	ドイツ語基礎		

午後の部は、上記科目の中から2科目まで受験できます。

学修計画に無理があれば、それだけ同じ時間帯の受験科目が増えて受験ができなかったり、負担になったり、よい結果は得られません。余裕をもった学修計画を立てたうえで受験ください。

**(8) 卒業に関する最終期試験について****●正科生**

3年編入学生で令和9(2027)年3月や令和9(2027)年9月卒業を目指される方の総合科目・外国語科目の最終期試験は以下のとおりです。

**最終期試験までに要卒業単位を満たせるよう学修計画を立ててください。**

卒業期	最終期試験
令和9(2027)年3月期	令和9(2027)年12月期試験
令和9(2027)年9月期	令和9(2027)年6月期試験

**●特修生**

上記のような最終期試験は定められておらず、学籍有効期間内であれば受験可能です。

**(9) 最終期試験の再試験制度について (正科生のみ)**

卒業判定対象となった正科生が、最終期試験(6月および12月)受験において、病気、事故等、やむを得ない事情で欠席となった場合、再試験の受験を申請することができます。申請内容にもとづき審査を行います。

なお、成績不振による再試験の受験申請はできません。

**●再試験に必要な書類**

再試験希望者は、再試験申請期間内に巻末の「再試験受験申請書」と証明書(事故・病院の診断書等、欠席の理由がわかるもの)を提出してください。

再試験受験申請期間外は、いかなる理由があっても受付できません。

**(10) ネットワーク障害の影響による取扱いについて**

KULeD 推奨環境を満たしていない、ネットワーク障害等、本学の責めに帰さない事由により受験時間が確保できなかった場合、通信教育部学生センターでは一切責任を負いません。

**(11) 転部・転学部試験を受験される方へ**

通学部への転部・転学部試験を受験される方は、年度内に各学部の定める受験資格を満たす必要がありますので、**1月期試験までに、受験資格を満たせるよう計画してください。**

※この他、通信教育部の実施する予備試験に合格する必要があります。(詳細は梅信発表)

**注意事項**

- ・ 申込締切日の終了時刻直前は申込みが集中して遅延のため申込みないことがあります。締切後の申込みは一切応じられませんので余裕を持って申込みようにしてください。
- ・ 各試験期の受験申込みは1回のみです。**追加申込みや科目変更は一度完了した申込みを取消した後、再度申込みしてください。ただし、受験申込期間外の受験科目の追加・取消・変更はできません。**
- ・ 専門科目は試験申込みの必要はありません。
- ・ 合格済みの科目は再度受験することはできません。
- ・ 試験の都合上、答案の開示に依っておりません。

## ④ スクーリング・オンデマンド授業の学修方法

### ① 「外国語・健康スポーツ科学」の単位

外国語科目は外国語以外の科目に比べて修得に時間を要するため、外国語以外の科目の倍の時間数を受講することとし、1単位開講としています。

よって1科目（2単位）を修得するために、下記科目は合計2回の受講が必要です。

- 英語総合（1単位）×2回
- ドイツ語読解（1単位）×2回
- 韓国語基礎（1単位）×2回（対面スクーリング）※1
- 中国語読解（1単位）×2回
- 英語表現（1単位）×2回
- 韓国語読解（1単位）×2回（対面スクーリング）※1

- ・同一講師の場合は履修許可されません。なお、成績は2回を平均して評価されます。
- ・すでに合格している科目を再度受講することはできません。なお、オンデマンド授業の外国語科目Aと外国語科目Bを同時受講することは可能です（[p.34参照](#)）。
- ・異なる科目（英語総合1単位と英語表現1単位等）を組み合わせるとして2単位とすることはできません。

※1 「韓国語基礎」と「韓国語読解」について

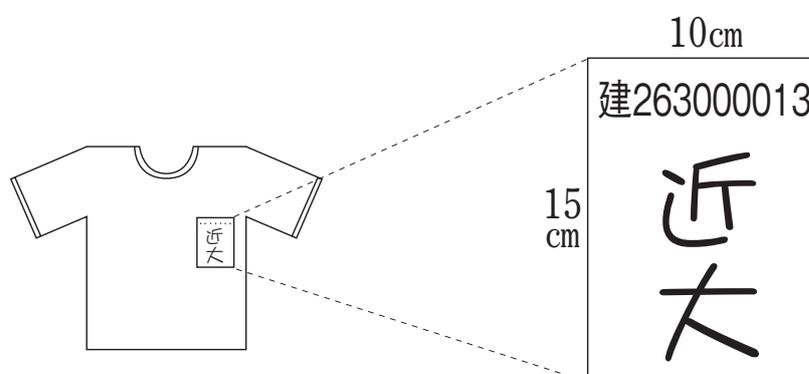
「韓国語基礎（2単位）」を合格したら「韓国語読解（2単位）」を履修（申込）することが可能です。

「韓国語」は東大阪キャンパスにて開講されるスクーリング（対面）への参加が必須です。スクーリング（1単位）とオンデマンド（1単位）での単位修得を推奨します。

### ● 健康スポーツ科学（実技）（1単位）×1回

総合科目で「健康スポーツ科学（理論）」を履修された場合、「健康スポーツ科学（実技）」の履修も必要です。

- ・体育実技のできる服装が必要です。体育館には、屋外で使用したシューズでは入場できませんので、屋外用、体育館用と2種類の運動靴を用意してください（2足用意されていれば同じ種類の靴でも結構です）。
- ・体操服の左胸に名札（タテ15cm×ヨコ10cm、白布製）を縫いつけてください。
- ・記念会館にある更衣室（鍵付きのロッカー有）を利用してください。



## ②オンデマンド授業時間割

## ●総合科目

科目コード	科目名	科目コード	科目名	科目コード	科目名
1701	環境と社会	1722	暮らしのなかの憲法	1727	ビジネスモデルとマネジメント
1711	国際化と異文化理解	1724	キャリアデザイン	1728	暮らしのなかの起業入門
1712	日本語の技法	1725	技術と倫理	1741	データリテラシー入門
1721	住みよい社会と福祉	1726	現代社会と法	1761	健康とスポーツの科学

前期	開講日	令和8(2026)年 5月1日(金)～7月31日(金)	成績 発表日	令和8(2026)年 8月19日(水)
	後期	開講日	令和8(2026)年 令和9(2027)年 11月1日(日)～1月31日(日)	成績 発表日

- ・入学時に履修登録をしている為、履修申請は不要です。
- ・近畿大学生協キャンパスストア Bloomでの教科書購入は、前期4月22日(水)、後期10月22日(木)までに購入してください。
- ・総合科目オンデマンド授業は、単位が未修得であっても再度履修登録する必要はありません。

## ●外国語科目

科目コード	科目名	講師名	科目コード	科目名	講師名
7702	英語総合A	大村	1510	ドイツ語読解A	渡邊
	英語総合B	藤井		ドイツ語読解B	酒井
7704	英語表現A	高橋	1514	中国語読解A	阿部
	英語表現B	平田		中国語読解B	陳

前期	履修 申請期間	令和8(2026)年 4月1日(水)～15日(水)(厳守)	開講日	令和8(2026)年 5月1日(金)～7月31日(金)
			成績 発表日	令和8(2026)年 8月19日(水)
後期	履修 申請期間	令和8(2026)年 10月1日(木)～15日(木)(厳守)	開講日	令和8(2026)年 令和9(2027)年 11月1日(日)～1月31日(日)
			成績 発表日	令和9(2027)年 2月17日(水)

- ・履修登録を忘れると、次学期まで登録ができません。忘れないように気をつけてください。
- ・受講可否は履修申請期間終了後、翌開室日以降に近大メールに通知します。
- ・受講許可後に教科書を準備し受講に備えてください。
- ・近畿大学生協キャンパスストア Bloomでの教科書購入は、受講許可メール到着後、1週間以内に購入してください。

### ③オンデマンド授業

#### 【ME】動画視聴+ 単位修了試験



#### (1) 履修申請

- ・履修申請科目を指定し、前期/後期それぞれの履修申請期限までに KULeD より申請してください（申請方法については「KULeD」ユーザマニュアルを参照）。
- ・総合科目のオンデマンド授業は出願時に履修申請しているため、入学後の申請は不要です。不合格だった場合も、総合科目のオンデマンド授業は、改めての申請はいりません。
- ・合格済み科目は、再度履修することはできません。
- ・学年更新時、在籍延長時は、学籍更新手続きが完了していないと履修申請ができません。
- ・日程、講師等に変更がある場合は、「KULeD」インフォメーションに掲載します。

#### (2) 受講通知の連絡

履修申請された科目が受講できるかどうかを大学で判断し、履修申請期間終了後（翌開室日以降）、受講可否が近大メールに届きます。受講可否メール到着後の翌日以降に「KULeD（オンデマンド授業申込の受講可否状況）」画面にも受講の可否が表示されます。履修申請期間が開講直前の一定期間に限られるため受講許可後の変更は認められません。注意してください。

#### (3) 学修方法

各科目の授業映像を初めから順番に視聴します。途中確認テストが用意されており、確認テストに合格してから次の映像を視聴することができます。視聴方法については「KULeD」ユーザマニュアルを参照してください。

教員へ質問する機能（質疑と回答）を使用する場合、受講期間終了直前に数回の質疑応答が発生すると、質問に対する最終回答が受講期間内に間に合わない場合があります。質問がある場合は、**前期 7/20、後期 1/20**を目途に質問するようにしてください。

#### (4) 単位修了試験

各科目全時間の視聴を終え、授業アンケートに回答後、開講期間の最後に設定されている1週間の試験期間内に60分間の「単位修了試験」を受験してください。場所・時間の指定はありませんので、試験期間中であればいつでも受験できます。

※試験最終日については、**22:59までに受験を開始するようにしてください。**なお受験する際、学生証（特修生は身分証明証）は必携です。手元にない場合は受験できませんので予め用意しておいてください。

試験期間になると、一覧下部にある「単位修了試験」が押下できるようになります。こちらをクリックし受験画面に進んでください。

画面に表示された「受験開始」をクリックすると、試験問題が表示されます。試験時間は60分です。60分経過すると自動的に答案が提出され、以後解答はできません。60分以内に答案が作成できた場合は画面内の「提出」をクリックすると答案が提出され、試験終了となります。

※試験期間は1週間と設定されていますが、受験開始ボタンを押下した時点から60分間の試験が始まります。試験を開始したり、一度答案を提出すると再受験はできませんので注意してください。

#### (5) 受験方法

必ずカメラ付きの端末で、試験用 Zoom に接続してください。受験時には、カメラをオンにして顔が見えるようにし、Zoom の表示名を本人がわかるように表記してください。

Zoom の URL は試験日程前に近大メールで通知します。必ず確認してください。

※受験マニュアルについては、別途 KULeD インフォメーション等で公開します。

**(6) 成績評価**

オンデマンド授業の単位修得には次の条件を満たす必要があります。

- 各科目のシラバスで示された「成績評価基準」を満たしていること。

※単位修了試験を受験しないと「欠席」扱いとなり評価対象となりません。

**(7) その他**

不合格の場合は再度受講が必要です。

④スクーリング時間割(東大阪キャンパス)

配当学年	スクーリング コード	科目	開講期間	開講 形態	季・期	担当 講師	申込締切日 ※4/1~ 申込可能	成績 発表日	
									1年 入学
2	3	健康スポーツ 科学	2610078	5/9・16・23	SS	土曜1期	禿	4/14(火)	6/18(木)
			2610027	11/8・15・29	SS	日曜3期	禿	10/6(火)	12/17(木)
1	3	英語総合	2610072	5/9・16・23	SS	土曜1期	白川	4/14(火)	6/18(木)
			2610069	5/11・18・25・ 6/1・8・15・22・29	SS ※1	夜間(月)・春 (オンライン)	萩澤	4/14(火)	8/20(木)
			2610079	5/30・6/6・13	SS	土曜2期	久保	4/14(火)	7/9(木)
			2610091	6/20・27・7/4	SS	土曜3期	有本	5/26(火)	8/20(木)
			2610001	6/21・28・7/5	SS	日曜1期	萩澤	5/26(火)	7/30(木)
			2610044	8/20(木)~22(土)	SS	夏季2期	白川	6/30(火)	9/10(木)
			2610054	8/24(月)~26(水)	SS	夏季3期	石井	6/30(火)	9/10(木)
			2610061	8/27(木)~8/29(土)	SS	夏季4期	石井	6/30(火)	9/10(木)
			2610010	8/30・9/6・9/13	SS	日曜2期	石井	7/14(火)	10/15(木)
			2610070	10/26・11/2・9・16・ 30・12/7・14・21	SS ※1	夜間(月)・秋 (オンライン)	平井	9/23(水)	令和9(2027)年 1/28(木)
			2610099	11/7・14・28	SS	土曜5期	白川	10/6(火)	12/17(木)
			2610018	11/8・15・29	SS	日曜3期	久保	10/6(火)	12/17(木)
			2610107	令和9(2027)年 2/20・27・3/6	SS	土曜6期	長谷川	令和9(2027)年 1/12(火)	令和9(2027)年 3/25(木)
1	3	英語表現	2610012	8/30・9/6・9/13	SS	日曜2期	白川	7/14(火)	10/15(木)
			2610029	令和9(2027)年 2/14・21・28	SS	日曜4期	有本	令和9(2027)年 1/5(火)	令和9(2027)年 3/25(木)
2	3	ドイツ語読解	2610074	5/9・16・23	SS	土曜1期	小田	4/14(火)	6/18(木)
			2610085	6/20・27・7/4	SS	土曜3期	亀井	5/26(火)	8/20(木)
			2610101	11/7・14・28	SS	土曜5期	須摩	10/6(火)	12/17(木)
2	3	中国語読解	2610081	5/30・6/6・13	SS	土曜2期	呉	4/14(火)	7/9(木)
			2610003	6/21・28・7/5	SS	日曜1期	原田	5/26(火)	7/30(木)
			2610038	8/17(月)~19(水)	SS	夏季1期	岡上	6/30(火)	9/10(木)
			2610046	8/20(木)~22(土)	SS	夏季2期	阿部	6/30(火)	9/10(木)
			2610093	10/17・24・31	SS	土曜4期	永井	9/23(水)	11/26(木)
			2610020	11/8・15・29	SS	日曜3期	田中	10/6(火)	12/17(木)
2	3	韓国語基礎	2610006	6/21・28・7/5	SS	日曜1期	仲道	5/26(火)	7/30(木)
			2610037	8/17(月)~19(水)	SS	夏季1期	仲道	6/30(火)	9/10(木)
			2610025	11/8・15・29	SS	日曜3期	シン	10/6(火)	12/17(木)
2	3	韓国語読解	2610062	8/27(木)~8/29(土)	SS	夏季4期	仲道	6/30(火)	9/10(木)
			2610098	10/17・24・31	SS	土曜4期	仲道	9/23(水)	11/26(木)
			2610034	令和9(2027)年 2/14・21・28	SS	日曜4期	シン	令和9(2027)年 1/5(火)	令和9(2027)年 3/25(木)

※1 全日オンライン開講です。

## スクーリング時間割(東大阪キャンパス以外)

配当学年		スクーリング コード	科 目	会 場※	開講 形態	開講期間	担当 講師	申込締切日 ※4/1～ 申込可能	成績 発表日
1年 入学	3年 編入								
1	3	2610179	英語表現	栃木 (TBC学院小山校)	SS	7/27(月)～7/29(水)	白川	6/23(火)	8/20(木)
1	3	2610235	英語総合		SS	12/15(火)～12/17(木)	白川	10/27(火)	令和9(2027)年 1/28(木)
		2610238		SS	令和9(2027)年 1/9(土)～11(月祝)	萩澤	12/8(火)	令和9(2027)年 2/17(水)	
		2610163		SS	7/3(金)～7/5(日)	大庭	5/26(火)	8/20(木)	
		2610173		SS	7/24(金)～7/26(日)	大庭	6/23(火)	8/20(木)	

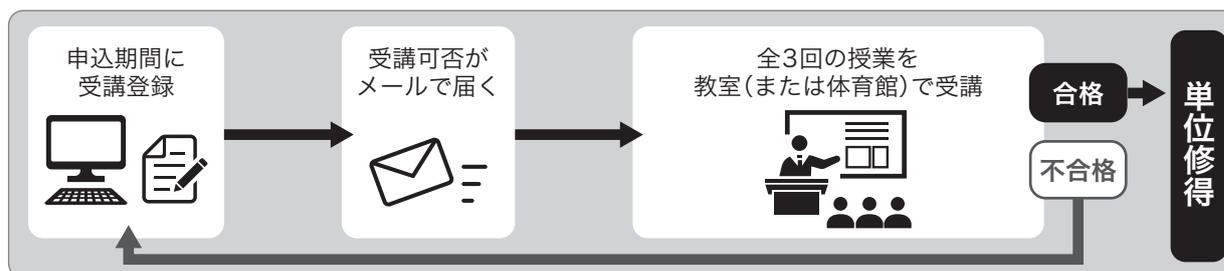
※会場については次頁を参照してください。

## ⑤スクーリング会場

会場名	住所	最寄駅
近畿大学 東大阪キャンパス	大阪府東大阪市小若江3-4-1	近鉄長瀬駅 出口から徒歩10分
TBC学院小山校 1号館	栃木県小山市三峯1-10-21	JR小山駅 西口から徒歩約12分
おおぞら高等学院 名古屋キャンパス	愛知県名古屋市中村区椿町12-7	JR名古屋駅 新幹線口から徒歩約5分
福岡カレッジ・オブ・ビジネス	福岡県福岡市中央区大濠2-8-13	地下鉄唐人町駅 5番出口徒歩8分 西鉄バス ②③系統唐人町 徒歩6分

## ⑥スクーリング

## 【SS】対面（全3回）



## (1) 履修申請

- ・履修申請科目を指定し、それぞれの申込締切日までに「KULeD」より申請してください（申請方法については「KULeD」ユーザマニュアルを参照）。申込締切日以降の申請は一切受けません。
- ・スクーリング（対面・オンライン）で受講許可待ち、受講中もしくは採点中の場合、同一科目の履修申請はできません。ただしオンデマンド授業の受講期間中に同一科目のスクーリング（対面・オンライン）を履修申請することは可能です（p.34参照）。
- ・同一講師での合格済み科目は再度履修することができません。
- ・学年更新時、在籍延長時は、学籍更新手続きが完了していないと履修申請ができません。
- ・日程、講師等に変更がある場合は、「KULeD」インフォメーションに掲載します。
- ・履修申請期間中は「KULeD」にて科目の変更や取消しが可能です。履修申請期間終了後は、科目の変更・追加・取消しは一切できません。

## (2) 受講通知の連絡

履修申請された科目が受講できるかどうかを大学で判断し、履修申請期間終了後（翌開室日以降）に受講可否が近大メールに届きます。受講可否メール到着後の翌日以降に「KULeD（スクーリング申込の受講可否状況）」画面にも受講の可否が表示されます。

## (3) 受講許可

受講許可メールの到着をもって**受講許可**とします。

定員に対し一定数を満たさない場合や定員オーバー等で受講許可されないことがあります。不許可になった場合、近大メールに通知します。

**定員について**

各スクーリング（対面・オンライン）とも定員があります。申込みが定員を超えた場合は、抽選で受講許可されます。また定員に対し一定数を満たさない場合は不開講となることがありますので、予めご了承ください。

## (4) 会場案内

詳細については前頁を参照してください。

**(5) Google Classroom の使用 (指定されている場合)**

- ・ Google Classroom を使用する場合、事前に近大メールアドレス宛にクラスコードをお送りしますので授業開始までに登録してください。
- ・ クラスコードを他言しないようお願いします。
- ・ 大学より配付された KINDAI ID で近大メール (Gmail) にログインしてください。
- ・ 個人の Google アカウントでは、Google Classroom には参加できません。必ず近大メールアドレス (学籍番号 t@kindai.ac.jp) でログインしてください。

**(6) 単位修了試験**

原則として当該授業科目開講日程最終日の講義時間内に、試験時間「60分」で行います。受験する際には、必ず机の上に「学生証」(特修生は「身分証明証」)を提示してください。「学生証」がない場合は受験できません。

**●受験上の注意****対面**

- ・ 講師の指示に従い受験してください。従わない学生は受験できません。
- ・ 他人に迷惑になるような行動や不正行為は堅く禁止します。また、不正行為と思われる言動も「学生証(特修生は身分証明証)」、「答案用紙」を提出させたうえ退場を命じ、当日の受験科目を不合格として、学部規程、学生規程に従って厳重に処分します。
- ・ 試験会場では時計以外の機能をもつ時計(スマートウォッチ等)は使用できません。また、携帯電話、スマートフォン等を時計代わりとして使用することも認められません。なお、時計のアラーム、携帯電話、スマートフォン等の電源は切って入場してください。
- ・ 必携および時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外は、原則として机の上に出すことはできませんので、すべて鞆にしまい、座席の下に置いてください(許可された物件についても確認させていただく場合があります)。

**オンライン**

- ・ 講師の指示に従い受験してください。従わない学生は受験できません。
- ・ カメラは必ずONにし、顔を映してください。
- ・ 発言を求められた場合は必ず応答してください。

**●不正行為者処分について (学生規程第8条抜粋)**

第8条 一切の不正行為を厳禁します。不正行為者に対しては、次のように処分します。

1. 当該科目を不合格とする。
2. 3回目以降は停学処分(6カ月)とする。

**(7) 成績評価・通知**

スクーリングにはさまざまな開講形態がありますが、単位の修得には次の条件を満たす必要があります。

- ・ 所定の講義日程のすべてに出席していること。
- ・ スクーリング時の試験に合格していること。
- ・ 各科目のシラバスで示された「成績評価基準」を満たしていること。

成績通知については [P.37](#) を参照してください。

**(8) その他**

不合格の場合は再度受講が必要です。

**注意事項****● 安易な履修申請は避けてください。**

スクーリング(対面・オンライン)には定員があります。安易な履修申請は、他の学生が出席する機会を奪う結果となりますので、全ての日程に出席可能か確認のうえ、履修申請してください。(欠席が多い等、恒常的に安易な履修が見受けられる場合は、履修申請を制限します。あらかじめご了承ください。)

**● スクーリング(対面・オンライン)期間中の欠席・遅刻・早退は認められません。**

急な仕事等により、どうしても遅刻や欠席が避けられない場合も考えられますが、個人的諸事情については考慮しません。あらかじめ受講計画を検討してください。ただし、公共交通機関の遅延による遅刻は、交通機関の発行する「遅延証明書(Web)」を担当講師へ提示することにより、受講を認める場合があります。また、対面スクーリング時の気象警報及び交通機関の運行停止などに関する対応は [p.36](#) を参照してください。

**● すべての講義に出席しても合格するとは限りません。**

スクーリング(対面・オンライン)への出席は、必要最低限の条件であって、合格を保証するものではありません。最終日での単位修了試験、期間中の小テスト・提出課題・授業への貢献等、シラバスの成績評価基準に基づき、担当講師の総合的判断により評価がされます。

## ⑦欠席

スクーリング（対面・オンライン）は所定の講義日程すべてに出席する必要があります。原則として欠席は認めておりません。欠席された場合は、全日程欠席した扱いとなり、再度申込みし受講する必要があります。

なお、欠席をする場合の連絡・手続き等は不要です。

ただし、履修申請中のスクーリング（対面・オンライン）を欠席し、成績発表日までに同一科目の申込みを希望する場合は取消申請が必要です。

## ⑧スクーリング申請の取消し

スクーリングの申請中（成績発表日まで）は、別の日程で同一科目のスクーリングを重複して申込みすることはできません。これはスクーリングには定員があり、安易な申込みで他の学生に不利益を生じさせないための措置です。

ただし、都合により許可後に取消しを希望する場合は、下記フォームより申請してください。

※成績発表日までに、同一科目のスクーリング（対面・オンライン）の履修申請を希望しない場合は、「欠席」・「取消」の連絡は不要です。

取消しフォーム <https://forms.gle/H41mVEpqWEWwtbmh6>

## ⑨受講の準備

受講に際しては、以下「Web シラバス」を確認のうえ、指定された教科書の準備・課題レポート作成などの準備はもちろんのこと、教科書を熟読し、予習を十分に行ってスクーリング・オンデマンド授業に臨んでください。また、受講前には体調にも十分留意してください。

### ●シラバス検索方法

近畿大学 Kindai Web Syllabus

学部名  学部名を「通信教育部」に指定する

科目  科目名または教員名を入力し検索

教員  (氏名、カナ氏名から検索)

本文キーワード検索  (半角空白で区切ることで複数の条件に一致する内容を検索できます)

並び順  (所属学科順、科目順、カナ氏名順)

検索条件  検索したい条件をチェック(複数可)してください。

※適用カリキュラムによっては、単位数や開講年次等が異なる場合がありますので、必ず履修要項で入学年度のカリキュラムを確認してください。

学科	<input type="checkbox"/> (通信) 法学部法律学科	<input type="checkbox"/> (通信) 短期大学部商経科	<input type="checkbox"/> (通信) 図書館司書科目
	<input type="checkbox"/> (通信) 学校図書館司書教諭科目	<input type="checkbox"/> (通信) 大学入学資格認定コース	
開講年次	<input type="checkbox"/> 1年次	<input type="checkbox"/> 2年次	<input type="checkbox"/> 3年次
	<input type="checkbox"/> 4年次	<input type="checkbox"/> 5年次	
	<input type="checkbox"/> 6年次	<input type="checkbox"/> 1~2年次	<input type="checkbox"/> 1~3年次
	<input type="checkbox"/> 2~4年次	<input type="checkbox"/> 3~4年次	<input type="checkbox"/> 4~5年次
		<input type="checkbox"/> 4~6年次	<input type="checkbox"/> 5~6年次

### (1) 課題レポートの作成

レポートの作成を指示されている科目については期日までに指定の場所に提出してください（シラバス参照）。

※手書きでの作成を指示されていない場合、パソコンで作成しても構いません。

(2) 教科書の準備

教科書等はシラバスにて指示されていますので、受講許可後各自確認のうえ必要な教科書を準備してください。

会場での販売は行っておりませんので、事前に近畿大学生協キャンパスストア Bloom や一般書店、オンラインショップで購入してください。

※教科書は急遽変更となる場合があります（「梅信」および「KULeD」インフォメーションにて発表）。そのため受講許可後に購入してください。

※教科書の指定がない場合は、事前に教科書を準備する必要はありません。また、テキスト授業の教科書を指定されている場合は、通信教育部学生センター宛に手続きしてください（次頁参照）。

●近畿大学生協キャンパスストア Bloom での教科書購入方法

「近畿大学生協キャンパスストア Bloom 教科書購入願」（[巻末参照](#)）に必要事項を記入のうえキャンパスストア Bloom 宛（下記住所）に教科書代+発送手数料を現金書留にて郵送または持参してください。

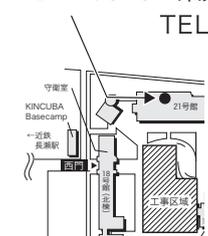
教科書を購入する場合は申込締切日翌日（受講許可後）から10日以内に手続きをしてください。

**「近畿大学生協キャンパスストアBloom」** **⚠ 購入期間厳守**

〒577-0818 東大阪市小若江3-4-1  
TEL (06) 6725-3335

●**発送手数料**

1冊： 500円  
2冊： 600円  
3～5冊：1,000円  
6冊以上：着払い（ヤマト運輸）




- ・教科書購入期間に必ず手続きを行ってください（購入期間外での購入は開講日までにお届けできません）。
- ・在庫状況によって異なりますが、到着までに10日前後要するため、早めに購入してください。
- ・郵送の場合は、現金書留にて直接近畿大学生協キャンパスストア Bloom 宛に送金してください。
- ・土日祝休業。その他学事日程により休業日あり（学事日程による休業の場合は休業明けの発送となります）。

建築学部（通信）  
年 月 日

**近畿大学生協キャンパスストアBloom教科書購入願**

・オンデマンド授業(前期・後期)・夜間・日曜( )期  
・土曜( )期・夏季( )期・卒業ゼミナール

会場：		講師：		先生
<small>※東大阪キャンパス以外のスクーリングの場合、会場名・講師名を記入ください</small>				
科目名	ISBN・書名	書籍代(税込)	発送手数料	
				<small>※p.29参照</small>
小 計			円	
合 計				

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますので正確に記入ください

送り先	学籍番号	
	氏 名	
	住 所	〒_____
	電 話	( ) _____

□に記入いただいた学籍番号・氏名等の個人情報は、本学統括課以外には使用いたしません

**●テキスト授業用の教科書購入方法**

スクーリング・オンデマンド授業の教科書でテキスト授業用の教科書とシラバスに指示がある場合、次の点に注意してください。

- ・テキスト授業が未履修の場合は購入が必要です。
- ・テキスト授業の教科書購入を希望される方は、下記教科書購入申請フォームから申請いただき、通信教育部学生センターで内容確認後に送金の案内を近大メール宛にお送りします。
- ・テキスト授業として履修している場合は、既に配本されている教科書をお使いください。
- ・改訂により購入が必要な場合があります。改訂前の教科書をお持ちの場合は新しく購入してください。
- ・スクーリング・オンデマンド授業用に教科書を購入しても、テキスト授業の履修許可とはなりません。
- ・〔ISBN〕番号の記載のある教科書は、下記フォームから購入できません。

テキスト購入申請フォーム <https://forms.gle/ijSCgMbpMnnegVui8>

**●Amazonでの教科書購入方法**

本学では教育・研究・学生サービス充実のため、アマゾンジャパン株式会社との連携協定を締結しており、「Amazon Prime Student」を利用できます。授業に必要な教科書等の購入や様々な特典が利用できますので活用してください（加入は任意です。取扱いのない教科書もありますので予めご了承ください。）。詳細については「学習の手引き① 学修・学籍・手続き編」p.71を参照してください。

(3) シラバスの解説

<見 本>

 <b>近畿大学</b> Kindai Web Syllabus 2026年度 シラバス							
学部・学科の教育方針/カリキュラムツリー等へのリンク <span style="float: right;">閉じる</span>							
科目名	英語総合B						
シラバスNO	2441100039						
担当教員	近大 通信						
開講年次	1年次 <span style="margin-left: 100px;">単位</span> <span style="margin-left: 100px;">1単位</span>						
開講期							
分野							
科目区分	(通信) メディア科目						
必修選択の別							
英文科目名							
備考							
授業概要	伝達手段としての英語に必要な4技能(読む、書く、聞く、話す)の基礎力の育成を目標とします。基礎的な文法・語彙知識の習得を行い、英語の基礎力を育成します。その上で、リスニングとリーディングを行い、英語の総合力を身に着けます。また、TOEIC形式の問題にも取り組み、高得点が狙えるようにトレーニングします。1回の授業で1 Unitを扱い、1回の授業は、Grammar、Listening、Readingの3つのセクションに分かれています。該当する箇所は必ず予習を行ってから授業を受けてください。質問はメンタリングボックスやメール等で送ってください。						
授業形態	メディア授業 (全授業回)						
アクティブ・ラーニングの形態	該当なし						
ICTを活用したアクティブ・ラーニング	双方向授業(クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用)・自主学習支援(e-learning等を活用)						
使用言語	日本語・英語の併用						
到達目標およびディプロマポリシーとの関連	・受講者は、平易な日常会話が理解できる。 ・受講者は、音声上の規則を理解できる。 ・受講者は、日常会話において場面に応じた短い表現を使うことができる。 ・受講者は、比較的平易な英文を一定の速度で読み、概要を理解することができる。 ・受講者は、初歩的な文法事項を理解し、1,500~2,000語程度の語彙を理解できる。						
評価方法および基準	この科目の修得は、通信教育学部法律学科の定めるディプロマ・ポリシー1、2、短期大学部通信教育学部商経科の定めるディプロマ・ポリシー1、4の達成に関連しています。 確認テスト(初回受験時の取得点数) 30% メディア単位修了試験 70%						
科目に対するフィードバック							
教科書	[ISBN]9784791971824 『Let's Read Aloud & Learn English: On Campus / 音読で学ぶ基礎英語《キャンパス編》』(角山 照彦, 成美堂: 2019)						
参考文献							
関連科目	英語総合A						
授業評価アンケート実施方法	学部実施規定に準拠して行う。						
研究室・メールアドレス	18-N420 sfujii@bus.kindai.ac.jp						
オフィスアワー	月曜3限						
授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;">                             第1回 オリエンテーション、Unit 01                              予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分)                              復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)                         </td> <td style="vertical-align: top;">                             第2回 Unit 02                              予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分)                              復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)                         </td> <td style="vertical-align: top;">                             第3回 Unit 03                              予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分)                              復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)                         </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">                             第4回 Unit 04                              予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分)                              復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)                         </td> <td style="vertical-align: top;">                             第14回 Unit 14                              予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分)                              復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)                         </td> <td style="vertical-align: top;">                             第15回 Unit 15                              予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分)                              復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)                         </td> </tr> </table>	第1回 オリエンテーション、Unit 01 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第2回 Unit 02 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第3回 Unit 03 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第4回 Unit 04 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第14回 Unit 14 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第15回 Unit 15 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)
第1回 オリエンテーション、Unit 01 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第2回 Unit 02 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第3回 Unit 03 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)					
第4回 Unit 04 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第14回 Unit 14 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)	第15回 Unit 15 予習内容: 該当Unitの説明部分をよく読み、わからない箇所はその意味などを調べる。各自で練習問題を解いておき、授業を視聴する準備をする。(45分) 復習内容: 授業ノートを読み返し学習内容を確認し、理解できていない箇所はもう一度調べるか視聴する。(45分)					
ホームページ							
実践的な教育内容	-						

教科書の準備について (p.28~) の注意事項をよく読み手続きしてください。

受講に際し、必ず読んでおいてください。

授業では15項目について学修します。

※内容変更(日程・会場・教員・教科書・講義内容等)がある場合は「KULeD」インフォメーションや近大メールで発表しますので必ず確認してください。

**(4) 受講に際し必要なもの**

- ・学生証（特修生の場合は身分証明書）
- ・課題レポート（提出を指示されている科目のみ。シラバス参照。）
- ・教科書
- ・語学の場合は「辞書」
- ・対面スクーリングでパソコンを使用する科目を受講する場合は「KINDAI ID とパスワード」
- ・その他、持参指示されたもの（シラバスおよび授業で指示されたもの）

**(5) オンラインスクーリング受講上の注意****●時間厳守**

授業は指定された時間に開始しますので、5分前にはログインし、接続状態を確認してください。遅刻は一切認められませんので、時間厳守をお願いします。

**●安定したインターネット環境の確保**

- ・授業中に接続が途切れないよう、安定したインターネット接続をご準備ください。
- ・通信にかかるパケット通信料はご本人様のご負担となります。

**●静かな環境で受講**

周囲の雑音が入らない静かな場所で受講してください。授業に集中できる環境が整っていると、理解も深まります。また、イヤホンやヘッドホンを使用いただくと、より効果的に参加できます。

**●カメラやマイクの使用**

カメラはオンにし、デフォルト名ではない場合、表記を「姓\_学籍番号末尾4桁\_建築学部」に変更してください。

また、発言を求められることがありますので、マイクつきのイヤホン等をご用意ください。当日カメラをオンにできない場合やマイクの使用ができない場合は欠席扱いになります。

長時間カメラの前から離れることも欠席の対象となります。

**●Google Classroom の使用（指定されている場合）**

- ・Google Classroom を使用する場合、事前に近大メールアドレス宛にクラスコードをお送りしますので授業開始までに登録してください。
- ・クラスコードを他言しないようお願いします。
- ・大学より配付された KINDAI ID で近大メール（Gmail）にログインしてください。
- ・個人の Google アカウントでは、Google Classroom には参加できません。必ず近大メールアドレス（学籍番号 t@kindai.ac.jp）でログインしてください。

**●授業の録画禁止**

授業内容の録画やスクリーンショット等の画像の記録は、プライバシー保護と著作権の観点から禁止しています。必要な場合は、メモを取りながら受講してください。

**●適切な態度での参加**

授業中は礼儀正しく、他の受講者や講師に配慮した行動を心がけてください。不適切な発言や行動が見られた場合、ただちに授業から退席、または今後の受講をお断りすることがあります。

**(6) 対面スクーリング受講上の注意（全会場共通）**

通信教育部学生センターからの連絡は、近大メール宛に通知します。必ず確認してください。

**●講義教室**

講義教室は、開講日の前日までに近大メール宛に通知します。注意事項等を熟読してください。

**●講義時間**

- ・定められた講義時間は、全時間受講することが必要です。
- ・欠席、遅刻、早退は認めておりません。
- ・講義開始時刻には講義教室に着席してください。
- ・休憩時間は担当講師が随時指示します。

**●講義中の心得**

- ・近畿大学生としての自覚を持ち、静粛に受講してください。
- ・講義中の入退室は、講義の進行や他の受講生の迷惑になりますので禁止します。
- ・講義教室以外の教室、施設には、許可なく入室しないでください。
- ・講義中の教室での私語を禁止します。
- ・講義中は携帯電話等の電源を切る、もしくはマナーモードに設定してください。また、施設内での携帯電話の使用は、他の方に迷惑がかかりますので十分注意してください。
- ・講義の撮影、録音は禁止します。
- ・受講態度の悪い者は、受講を取消し、即刻退室させることがあります。
- ・喫煙は必ず指定場所でしてください。
- ・貴重品は自己の責任で管理してください。

**●教室の空調について**

教室には空調設備が設置されておりますが、教室環境・着席位置など、受講生全員に対する快適な室温管理は難しく、体感温度にも個人差があるため上着を用意するなど、自身で温度調節をお願いします。

**●講義内容の変更について**

台風等により教員が派遣できない等、やむを得ない事情が発生した場合、以下のような変更を行う可能性があります。

- ・担当教員の変更
- ・不開講や日程変更
- ・オンライン授業への変更

その他、変更が生じた場合は梅信・近大メール等でお知らせします。

**●教科書がないと受講が認められません**

事前にシラバスを確認のうえ、必ず受講許可後に準備してください。

**●Google Classroom の使用（指定されている場合）**

- ・Google Classroom を使用する場合、事前に近大メールアドレス宛にクラスコードをお送りしますので授業開始までに登録してください。
- ・クラスコードを他言しないようお願いいたします。
- ・大学より配付された KINDAI ID で近大メール（Gmail）にログインしてください。
- ・個人の Google アカウントでは、Google Classroom には参加できません。必ず近大メールアドレス（学籍番号 t@kindai.ac.jp）でログインしてください。

**●自動車・バイク通学**

- ・近畿大学では、原則として学生の車、バイクでの通学を認めておりません（学内入構禁止）。
- ・通学には、公共交通機関を利用してください。
- ・身体に障がいのある方や特別な事情がある場合は、通信教育部学生センターまで事前に相談してください。

**(7) 東大阪キャンパス対面スクーリング受講上の注意****●窓口事務取扱**

対面スクーリング開講時は、窓口業務の時間帯が通常と異なります。近大メールにお送りする講義教室等の一覧にて受付時間等指示します。必ず指示時間を守ってください。

**(8) 東大阪キャンパス以外での対面スクーリング受講上の注意**

- ・入室時間前に会場へ入場することはできません。開講案内に記載の入室時間等確認のうえ、受講してください。
- ・持ち込んだ飲食物や空缶等のゴミは責任を持って持ち帰ってください。
- ・講義終了後は速やかに退室してください。

**(9) 不正行為者処分について（学生規程第8条抜粋）**

**第8条** 一切の不正行為を厳禁する。不正行為の者に対しては、次のように処分する。

**(2) 単位修了試験**

- ①当該の科目を不合格とする。
- ②3回目以後は停学処分（6ヶ月）とする。

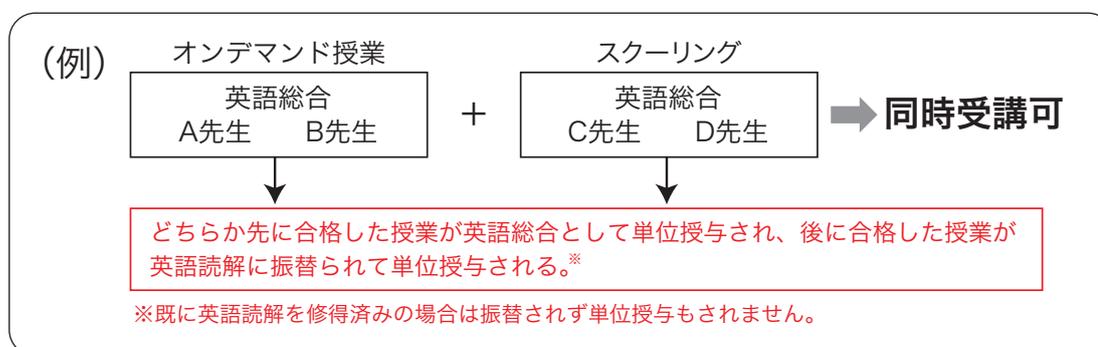
**⑩ オンデマンド授業とスクーリングの同時受講**

オンデマンド授業の受講期間中（前期：5月1日～7月31日・後期：11月1日～1月31日）に、受講中のオンデマンド授業と同一のスクーリング科目を履修申請することが可能です。

例えば、オンデマンド授業（前期）の「英語総合」（藤井先生担当）の受講中に、スクーリング（東大阪キャンパス）（6月21日（日）～開講）の「英語総合」（萩澤先生担当）を同時受講することが可能です。以下、オンデマンド授業とスクーリングの同時受講にともなう注意点を列挙しますので、履修の際には十分注意し申請してください。

① オンデマンド授業とスクーリング（対面・オンライン）の同一科目は受講できますが、同一講師の場合は受講できません。

② 同時受講の場合、先に成績発表され合格した授業が単位授与されます。その後、もう一方が合格であったとしても追加の単位授与はされず、成績の上書きもされません。



## ⑪テキスト授業への振替（外国語科目のみ）

テキスト授業への振替とは、外国語科目のスクーリング（対面・オンライン）またはオンデマンド授業にて受講または単位認定し合格した後、再度同一科目を異なる講師で受講し、合格すれば、2度目の修得単位をテキスト授業単位として振り替えることができ、テキスト授業のレポート合格・科目終末試験合格が免除されることです。

オンデマンド授業の受講期間中に、同一科目のスクーリング（対面・オンライン）を同時受講する場合、先に合格した授業がスクーリング・オンデマンド授業として単位授与され、後に合格した授業がテキスト授業に振り替えられて単位授与されます。

### 履修申請

該当する履修申請期間に、「KULeD」から申請してください。

#### ●振替可能な科目

スクーリング・オンデマンド授業	→	テキスト授業
英語総合	→	英語読解
中国語読解	→	中国語基礎
ドイツ語読解	→	ドイツ語基礎

### 振替履修申請上の注意

- ・ 2回目の申請時点で初回受講分の合格が確定していることが必要です（単位認定含む）。
- ・ 同一講師での受講は許可されません（スクーリング（対面・オンライン）とオンデマンド授業の組み合わせの場合も同一講師での受講は許可されません）。
- ・ テキスト授業の単位を修得している場合は振替できません。
- ・ 外国語科目は1単位開講のため、2回受講（合格）することで、1科目（2単位）修得になります。1科目（2単位）の合格確定後、さらに1単位ずつ2回振替受講することによりテキスト授業単位の1科目（2単位）が修得できます（4回とも異なった講師で受講が必要）。

(例)	スクーリング・オンデマンド授業 英語総合 A先生	+	スクーリング・オンデマンド授業 英語総合 B先生	=	スクーリング・オンデマンド授業 英語総合2単位修得
	スクーリング・オンデマンド授業 英語総合 C先生	+	スクーリング・オンデマンド授業 英語総合 D先生	=	テキスト授業へ振替 英語読解2単位修得

- ・ 振替先となるテキスト授業の履修申請は必要ありません。
- ・ 履修申請後、他の科目への変更はできません。

## ⑫卒業に関わる最終受講期

卒業申請中で、必要なスクーリング・オンデマンド授業の単位をまだ満たしていない場合、以下の最終受講期に注意してください。最終受講期のスクーリング（対面・オンライン）までに合格できなかった場合は、卒業が延期となります。また、卒業申請中は卒業延期が確定するか卒業申請を取消すまでは新しくスクーリング（対面・オンライン）を履修申請できません。

### 注意

- ・ 9月卒業の最終受講期…成績発表日が令和9（2027）年9月10日までのスクーリング・オンデマンド授業（予定）
- ・ 3月卒業の最終受講期…成績発表日が令和9（2027）年2月17日までのスクーリング・オンデマンド授業（予定）
- ・ 近畿大学の転部・転学部試験や他大学等への編入学試験、就職、転職試験に合格していても、卒業判定では一切考慮されませんので注意してください。

### ⑬気象警報及び台風・地震等による交通機関の運行停止に伴う授業の取扱い

対面スクーリング開講期間に、暴風警報等が発表された場合及び台風や地震等により交通機関が運行停止となった場合、授業の取扱いについては、学内規程「気象警報及び台風・地震等による交通機関の運行停止に伴う授業の取扱いについて」に基づき以下のとおりとします。ただし、居住されている地域の被災により避難指示が発表された場合や通学することが困難な場合は、身の安全を最優先に考え、適切な行動をとってください。また、以下の事例以外に特別な事態が生じた場合にも授業の短縮や休講となる場合があります。

#### 特別警報又は暴風警報発表の場合

特別警報又は暴風警報が以下のいずれかの地域に発表された場合は次のとおり休講とします。ただし、特別警報が発表された場合は終日休講とします。また、特別警報又は暴風警報が授業時間中に発表された場合は、授業を中止して休講とします。

特別警報が発表された場合、該当地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。特別警報が発表された地域にいる場合は、特別警報の種類は問わず、自身の判断により命を守るために最善と思われる行動をとってください。ただし、特別警報発表時に会場内にいる学生は、大学の指示に従って行動してください。

#### ●東大阪キャンパス対面スクーリング

##### (1)警報発表対象地域

大阪府：大阪市、北大阪（豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・箕面市・摂津市・島本町・豊能町・能勢町）、東部大阪（東大阪市・守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・大東市・柏原市・門真市・四条畷市・交野市）、南河内（富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村）、泉州（堺市・岸和田市・泉大津市・貝塚市・泉佐野市・和泉市・高石市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町）

兵庫県：阪神（神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町）

奈良県：北西部（奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市・生駒市・香芝市・葛城市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・川西町・三宅町・田原本町・高取町・明日香村・上牧町・王寺町・広陵町・河合町）、五条・北部吉野（五條市北部・吉野町・大淀町・下市町）

京都府：京都・亀岡（京都市・亀岡市・向日市・長岡京市・大山崎町）、山城中部（宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・久御山町・井出町・宇治田原町）、山城南部（木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村）

##### (2)暴風警報解除時刻と授業開始時刻

・講義時間 9：00～17：30

解除時刻	授業開始時刻
6時00分時点で解除	平常通り実施
10時00分時点で解除	午後1時から実施
10時00分時点で警報発表中	休講

※6時00分時点で特別警報が発表されている場合は解除時刻にかかわらず終日休講

・講義時間 12：00～17：30

解除時刻	授業開始時刻
9時00分時点で解除	平常通り実施
9時00分時点で警報発表中	休講

### ●東大阪キャンパス以外の対面スクーリング

警報発表対象地域は対面スクーリング会場によって異なりますので、警報が予想される場合は、授業開始時刻等近大メールでお知らせします。発表が予想される場合は、確認してから参加するようにしてください。

#### 交通機関の運行停止の場合

台風・地震等により以下に該当するいずれかの交通機関が全面的に運行停止となった場合、運行が再開された時刻により次のとおり休講とします。大阪地区以外では、各所在地及び当該交通機関を適用する。ただし、当該交通機関での事故等による一時的な運行停止は対象とならないので注意してください。

### ●東大阪キャンパス対面スクーリング

#### (1)対象交通機関

##### 【台風・地震等の災害による運行停止】

- ①近鉄「大阪線（大阪上本町～大和八木間）」「奈良線」が同時に運行停止になった場合
- ② JR 西日本（※参照）、南海（南海本線及び高野線）、阪急、阪神、京阪、大阪メトロのうち2以上の交通機関の全線が同時に運行停止になった場合  
※ JR 西日本は大阪環状線、京都線（京都～大阪）、神戸線（大阪～姫路）、学研都市線（京橋～木津）、東西線（京橋～尼崎）、宝塚線（大阪～新三田）、ゆめ咲線（西九条～桜島）、大和路線（加茂～JR 難波）、阪和線（天王寺～和歌山）、おおさか東線（大阪～久宝寺）を対象とします。なお、JR 西日本のみで2以上の路線が運行停止となった場合は休講の対象となりません。
- ③ JR 阪和線全線及び南海本線全線が同時に運行停止になった場合

##### 【ストライキによる運行停止】

- ①近鉄が運行停止になった場合
- ② JR 西日本、南海、阪急、阪神、京阪、大阪メトロのうち2以上の交通機関が同時に運行停止になった場合

#### (2)運転再開時刻と授業開始時刻

前項(2)暴風警報解除時刻と授業開始時刻と同様とします。

### ●東大阪キャンパス以外の対面スクーリング

対象交通機関は地区・会場によって異なりますので、運行停止が予想される場合は授業開始時刻と合わせて近大メール等でお知らせします。運行停止が予想される場合は、確認してから参加するようにしてください。

## ⑤ 成績評価・通知

成績発表日に「KULeD」の成績照会から確認ができます。

成績評価は、秀・優・良・可・不可で示され、秀は90点以上、優は80～89点、良は70～79点、可は60～69点、不可は59点以下を表します。

また、秀・優・良・可は合格で、不可は不合格です。不可の場合は再受験・再受講する必要があります。

評 価	合 格				不 合 格
	秀	優	良	可	不可
得 点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下

※成績発表メール、「KULeD」の成績照会は実点表示、成績証明書は評価のみの表示です。

# II 特修生(大学入学資格認定コース)

## ① 開講科目及び修了に必要な単位数

	科目コード	開講科目名	単位数	学修方法の組み合わせ					
				1のみ	2のみ	1・2の組み合わせ	1・3の組み合わせ	2・3の組み合わせ	1・2・3の組み合わせ
テキスト授業	1402	生命現象論(生物学)	4	レポートのみ	レポート+試験	レポートのみ あるいは レポート+試験	レポートのみ	レポート+試験	レポートのみ あるいは レポート+試験
	1101	文化交流論(歴史)	4						
	1303	国際社会システム論(政治学)	4						
	1104	日本文化論(文学)	4						
	7701	英語読解	2						
	1513	中国語基礎	2						
スクーリング・オンデマンド授業	7702	英語総合※	2	/	/	/	スクーリング or オンデマンド授業(試験)	スクーリング or オンデマンド授業(試験)	スクーリング or オンデマンド授業(試験)
	1514	中国語読解※	2				スクーリング(試験)	スクーリング(試験)	スクーリング(試験)
コース修了に必要な最低単位数			Aコース	10単位	6単位	10単位	10単位	6単位	10単位
			Bコース	12単位	8単位	12単位	12単位	8単位	12単位
			Cコース	14単位	10単位	14単位	14単位	10単位	14単位

・外国語科目のスクーリング・オンデマンド授業は1単位開講であり、同一科目を2回(別講師)の受講により2単位修得する必要があります。

スクーリング1単位とオンデマンド授業1単位の組み合わせにより2単位修得も可能です。

(注) テキスト授業で履修された科目以外のスクーリング・オンデマンド授業を履修することも可能です(必修科目を除く)。

例) テキスト授業「英語読解(2単位)」、スクーリング・オンデマンド授業「中国語読解(2単位)」を履修

## ② 学修方法

次の3つの方法があり、科目ごとに自分に合った学修方法を選ぶことができます。それぞれの学修方法の組み合わせにより、修了に必要な単位数が異なります。

組み合わせによる必要単位数は前頁の表にて確認してください。

(学修方法は、入学時に選択する必要はありません。また、科目ごとに学修方法をかえることも可能です。)

下記①～③を組み合わせることもできます。

### ① レポートのみ

テキスト授業の中から選択した科目のレポートを作成・提出し、合格を目指す方法

### ② レポート+試験

①と同様にしてレポートを提出後、試験を受験し、レポート・試験の両方合格することを目指す方法

### ③ スクーリング・オンデマンド授業

スクーリング・オンデマンド授業の中から選択した科目の講義を受講し、試験を受験(講義時間内で実施)して、合格を目指す方法

### ③ 面接試問

各コース規定の単位を修得し、所定の在籍期間を満たせば、面接試問（オンライン）の受験資格が得られます。

受験資格が得られたと判断できれば、通信教育部学生センターに面接試問の受験について申し出て下さい。面談日程の調整と面談身上書の記入が必要です。

コース修了には、次の要件をすべて満たす必要があります。

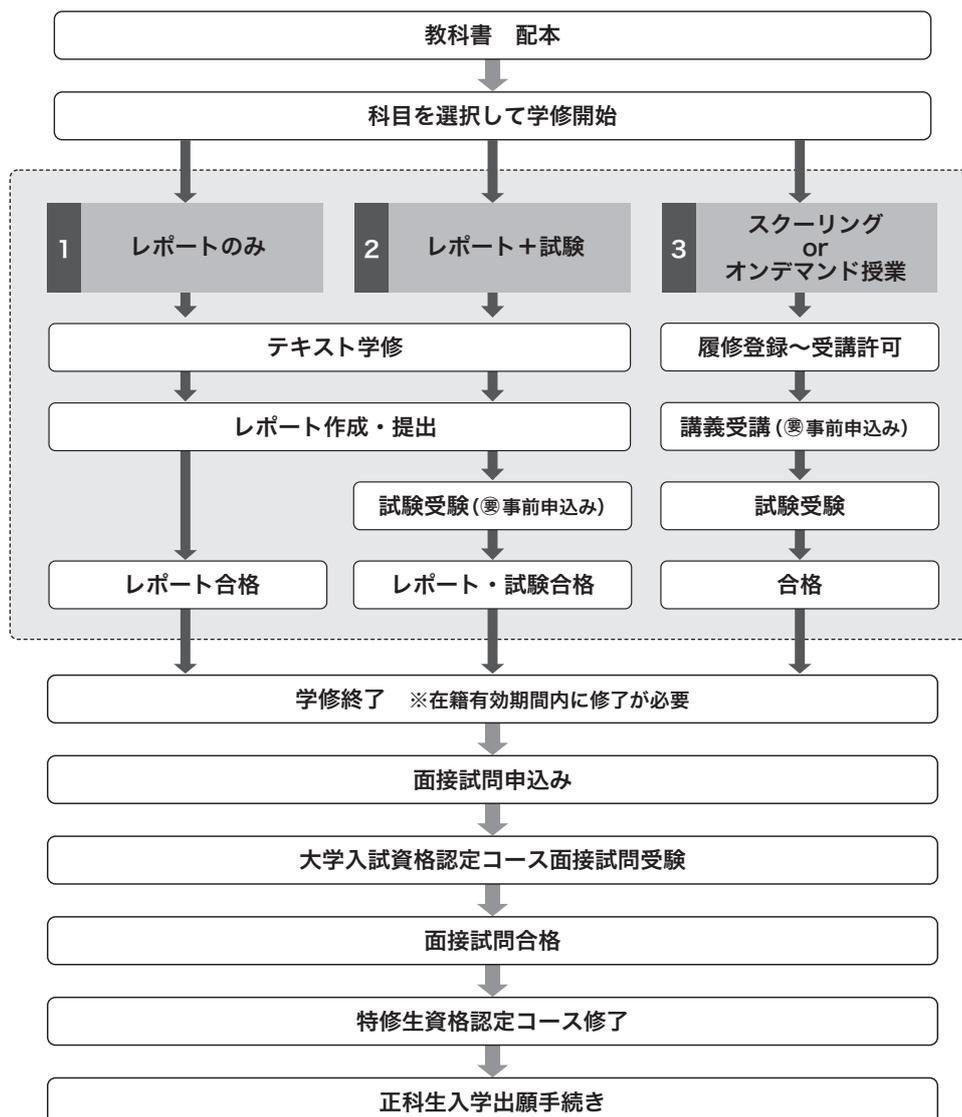
- ・各コースに定められた“コース修了に必要な最低単位数”を満たしていること
- ・各コース所定の期間、在籍していること
- ・特修生面接試問に合格していること

面接試問に合格すると特修生認定コース修了となり、近畿大学通信教育部正科生（建築学部（オンライン学士プログラム）、法学部法律学科または短期大学部商経科）への入学資格が取得できます。

### ④ 正科生入学後の単位認定

試験合格した科目（p.38②、③の学修方法で修得した単位）は、14単位（スクーリング・オンデマンド授業の科目を優先）を上限として、正科生入学時に単位認定（無料）することができます。

### ⑤ 学修から終了まで



年 月 日

## 近畿大学生協キャンパスストアBloom教科書購入願

- ・オンデマンド授業(前期・後期)・夜間・日曜( )期
- ・土曜( )期・夏季( )期・卒業ゼミナール

会場： 講師： 先生

※東大阪キャンパス以外のスクーリングの場合、会場名・講師名を記入ください

科目名	ISBN・書名	書籍代 (税込)	発送 手数料
小 計			
合 計			円

※p.29参照

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますので正確に記入ください

学籍番号	
氏 名	様
住 所	〒_____
電 話	( ) ( )

ご記入いただいた学籍番号・氏名等の個人情報、本手続処理以外には使用いたしません

年 月 日

## 近畿大学生協キャンパスストアBloom教科書購入願

- ・オンデマンド授業(前期・後期)・夜間・日曜( )期
- ・土曜( )期・夏季( )期・卒業ゼミナール

会場： 講師： 先生

※東大阪キャンパス以外のスクーリングの場合、会場名・講師名を記入ください

科目名	ISBN・書名	書籍代 (税込)	発送 手数料
小 計			
合 計			円

※p.29参照

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますので正確に記入ください

学籍番号	
氏 名	様
住 所	〒_____
電 話	( ) ( )

ご記入いただいた学籍番号・氏名等の個人情報、本手続処理以外には使用いたしません

キ リ ト リ 線

# 再試験受験申請書

年 月 日

近畿大学通信教育部長 様

私は、このたび今期の卒業に向けて、最終試験を受験予定でしたが、当日下記の理由により、受験することができませんでした。

つきましては、下記理由を証明する書類を添付のうえ、再試験の受験を希望しますので受験を認めていただくよう、お願いいたします。

なお、申請後、受験の可否も含めて、大学の決定事項に従うことを誓約します。

## 記

1. 学 籍 番 号 \_\_\_\_\_

2. 氏 名 \_\_\_\_\_

3. 申請卒業時期 \_\_\_\_\_ 年 9・3月期  
(いずれかに○)

4. 受 験 科 目 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月期 受験申込科目と同じ科目

5. 理 由 事故 疾病 災害  
その他 ( )

6. 証明書の種類 事故証明書 診断書 罹災証明書  
その他 ( )

※4については、最終期試験の受験申込みをおこなった科目のみ対象となります

※5、6については該当する項目に○をつけてください

以上

(以下大学記入欄)

受付印	受験可否



# 近大通信  
SNSで情報発信中



X



Facebook



LINE



LINE  
OpenChat



YouTube



Instagram



TikTok

近畿大学通信教育部

〒577-8691

布施郵便局私書箱7号

メール：[tsushin@kindai.ac.jp](mailto:tsushin@kindai.ac.jp)

お問い合わせの際はお手元に学生証を用意  
してください。